

## 2-4. 施設の現況

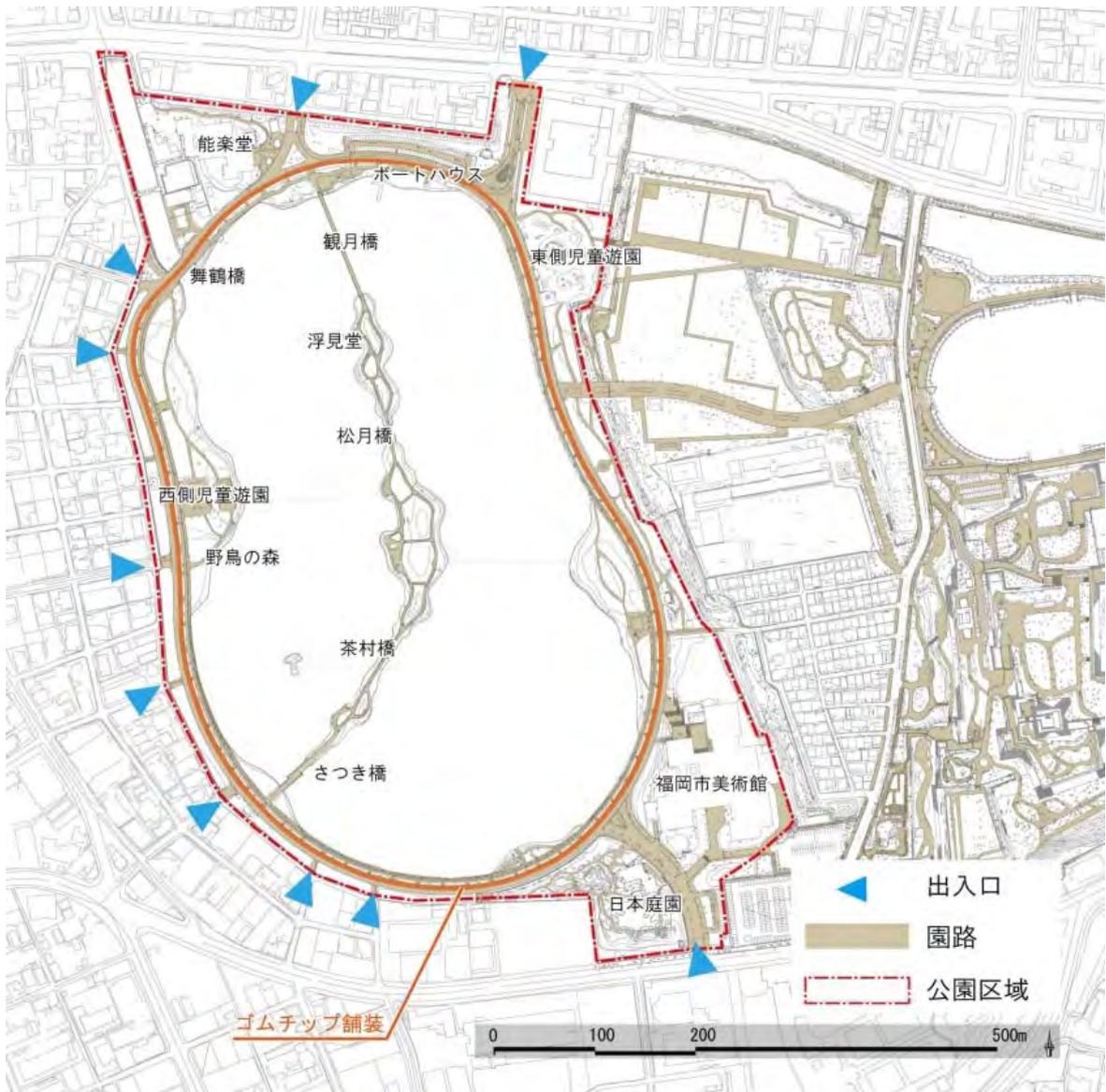
### (1) 園路

#### ①大濠公園

大濠公園では、池を周回する園路が約2kmに渡って整備されています。幅員は14.5mあり、その中で散策路3.0m、植栽帯2.5m、内周園路4.5m、外周園路4.5mに区分されています。散策路にはレンガ舗装、ジョギング・ウォーキングなどの利用者向けの内周園路にはゴムチップ舗装、自転車利用向けの外周園路にはアスファルト舗装と、利用者の目的に応じた舗装材が適用されています。また、4つの橋で結ばれた中之島には、島の形状に沿った土系舗装の園路が整備されています。



周回園路のゴムチップ舗装



図：大濠公園の園路

## ②舞鶴公園

舞鶴公園では、福岡城跡・鴻臚館跡の文化財や四季の花々を巡れるよう園路が整備されていますが、高低差のある地形に沿って階段や坂道が整備されているため、起伏のある園路となっています。また、公園を南北に貫く都市計画道路舞鶴公園線が通っているため、公園利用者の動線確保のための横断歩道が3ヶ所設置されています。

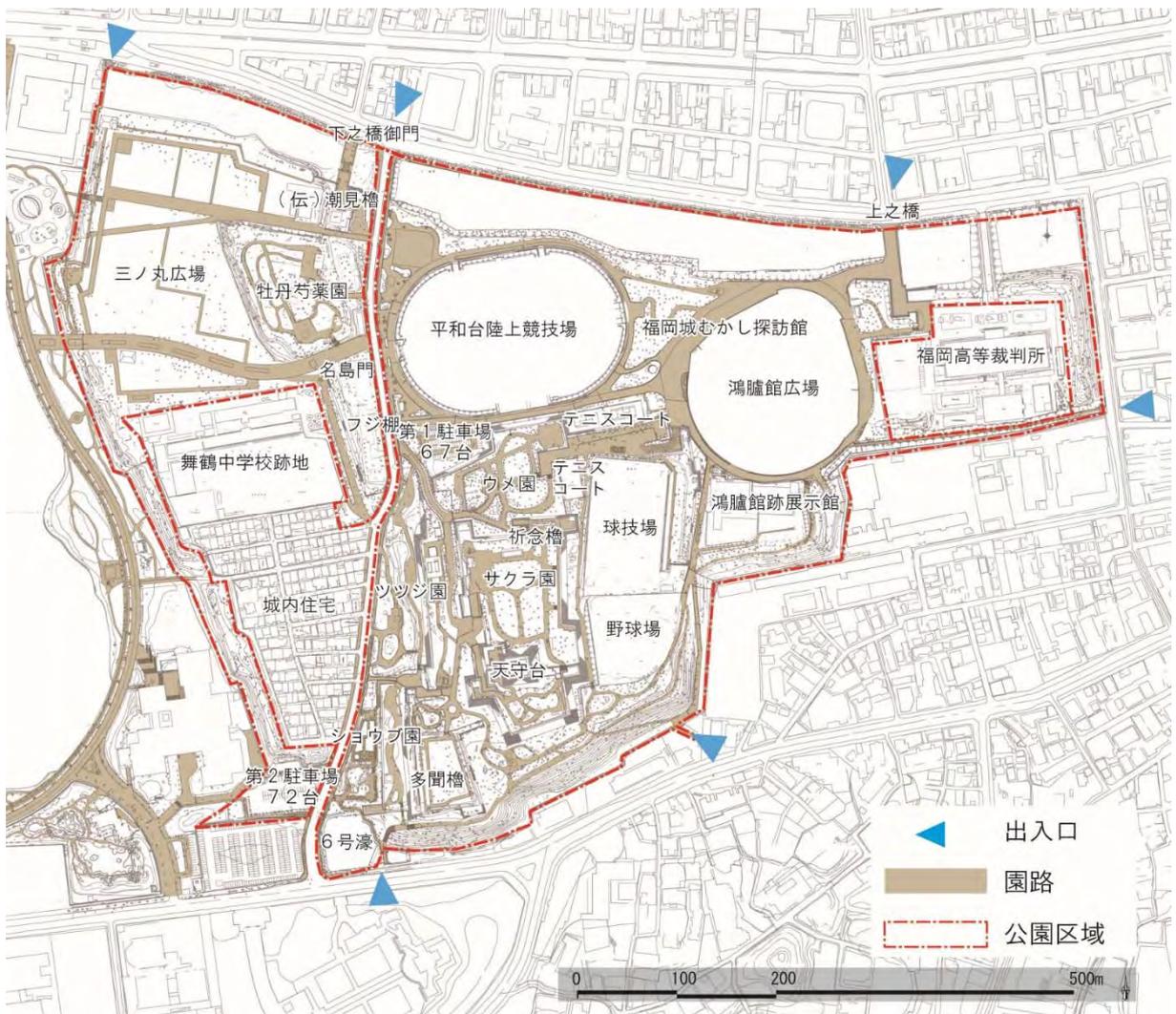
園路舗装は主に、土や石、アスファルトですが、所々に樹木による根上がりが見られ、舗装面の変形が進んでいます。バリアフリーの面でも高低差の大きな本丸・二ノ丸は利用しづらい現状となっています。



写真：二ノ丸の石畳



写真：舞鶴公園線の横断歩道



図：舞鶴公園の園路

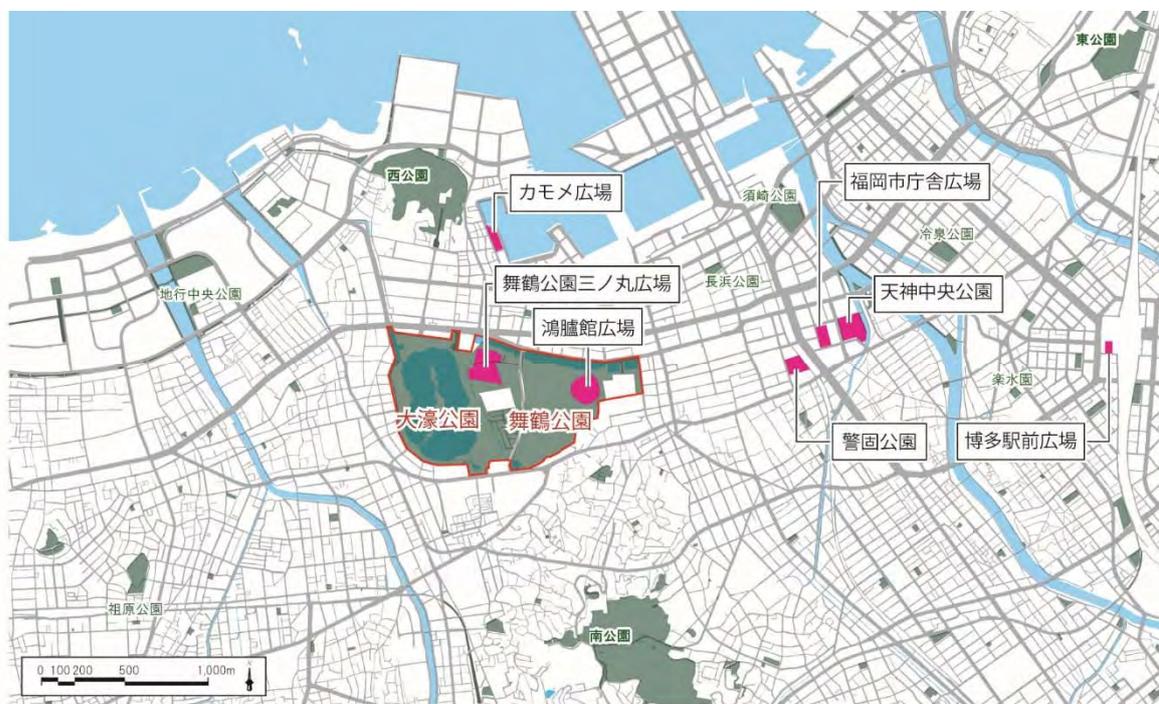
## (2) イベント広場

### ① 周辺地域のイベント広場

現在福岡市では、天神中央公園や福岡市庁舎広場（ふれあい広場）、警固公園、JR 博多駅前広場が代表的な都心部の広場として市民に認知されています。これらの広場では、「博多どんたく港まつり」などの福岡を代表するイベントのステージとしての活用や、全国で増えている各国・各都市の食のイベント、県外の地方自治体による観光PRイベントなど、様々な集客イベントなどに活用されています。

また、他都市では、札幌市の大通公園や東京都の代々木公園、北九州市の勝山公園など公園内の大規模広場で、年間を通して食や音楽、スポーツ等に関連したイベントが開催されています。

しかしながら、福岡の都心部でのイベント実施は、場所や面積の制限などで、大規模なイベントを実施し難い状況となっています。

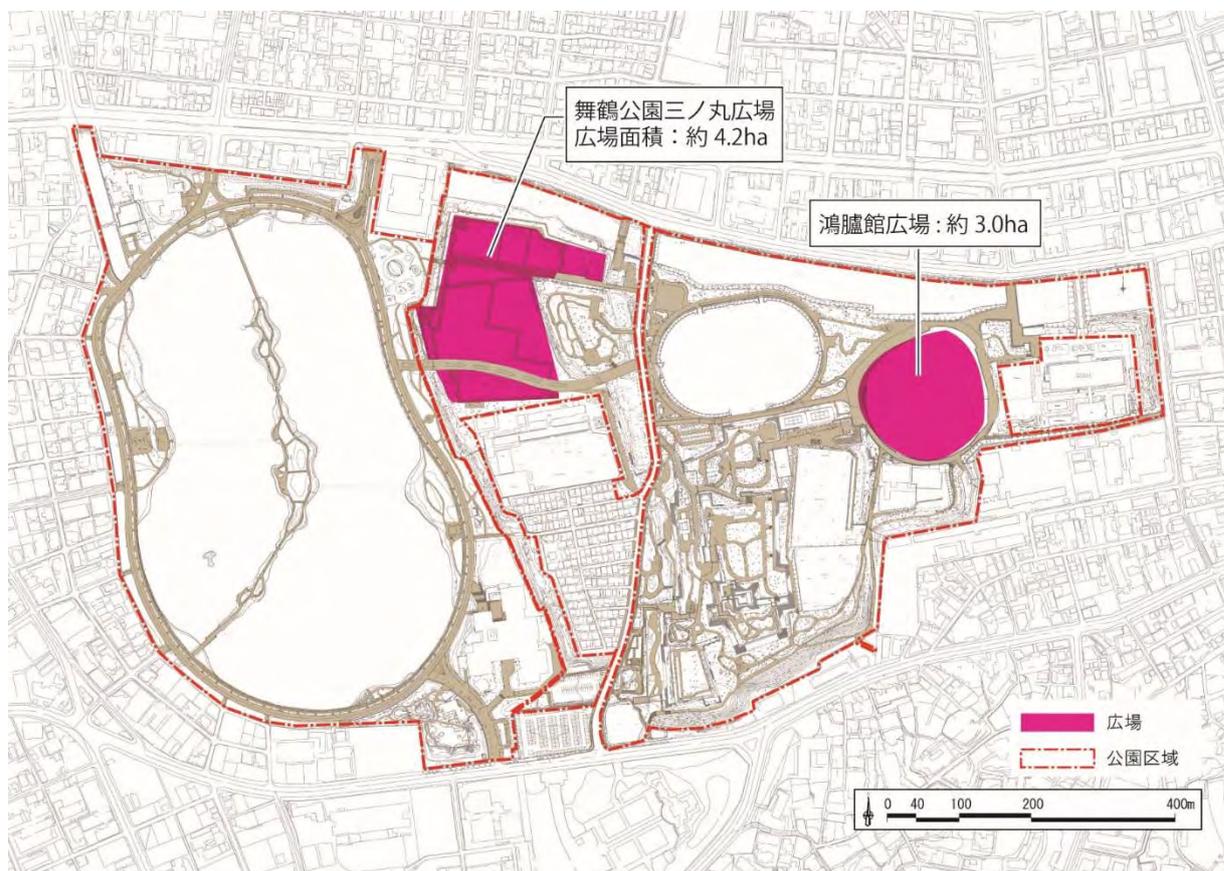


図：周辺地域における大規模イベントに利用される主な広場

## ②両公園のイベント広場

大濠公園・舞鶴公園では、多くの人が集い、憩えるオープンスペースとしての広場は、舞鶴公園の三ノ丸広場及び平成28年3月に供用した鴻臚館広場の2箇所となっています。

三ノ丸広場は、大濠公園に続く園路の南北にあり、休日には多くの親子連れなどで賑わい、軽スポーツや休憩場所として活用されているほか、イベントでも使われています。



図：両公園のイベント広場



写真：舞鶴公園三ノ丸広場



写真：鴻臚館広場

### (3) 文化財関連施設

#### ① 周辺地域の文化財

古くから福岡市は、博多湾を天然の良港とし、玄界灘を挟んで中国大陸・朝鮮半島と向かい合う地理的条件から、対外交流の門戸として栄え、日本の歴史と文化形成に大きな役割を果たしてきました。その歴史を示すものとして、8世紀から400年間にわたり外交・貿易の拠点となった鴻臚館をはじめ、12世紀の日宋貿易により貿易の拠点が鴻臚館から博多に移り、繁栄したことを示す博多遺跡群、著名な僧侶が博多に宋文化を伝えたことにより建立された聖福寺などの禅僧寺院などがあります。

また、史跡のほか、伝統技術や民俗芸能など有形・無形の文化財も数多く残されています。博多の総鎮守として崇敬される櫛田神社では、毎年7月に奉納される祇園山笠行事が博多の夏の風物詩となっています。



写真：鴻臚館跡（国史跡）



写真：住吉神社本殿（国有形文化財）



写真：博多遺跡群



図：周辺地域の指定文化財

## ②歴史的建造物（門・櫓）



図：両公園の歴史的建造物

## ③歴史ガイドンス施設



図：両公園の歴史ガイドンス施設

## (4) 芸術文化施設

### ① 周辺地域の芸術文化施設

福岡市中心部の芸術文化施設は、以下のとおり博多区に多く位置しており、天神地区には少ないことがわかります。その中でも、大濠公園には、福岡市美術館や能楽堂、日本庭園といった、福岡市の芸術や日本文化を伝える場所として多くの人が訪れています。

また、福岡市のホールやイベントスペースは、市民文化の殿堂として整備された市民会館、常設の劇場として開設された博多座、高度な専門性を持った音楽ホールを有するアクロス福岡シンフォニーホール、その他商業施設内のフリースペースなど、市民文化の表現と鑑賞の場として、官民により多くのホール・イベントスペースが整備されています。



図：周辺地域の芸術文化施設

(出典：2018 たいたい BOOK) の以下の項目

「美術館、博物館・資料館・展示室、図書館、MICE コンベンション施設【1000人以上】、庭園、舞台」

## ②両公園の芸術文化施設



図：両公園の芸術文化施設

## (5) 運動施設及び遊戯施設

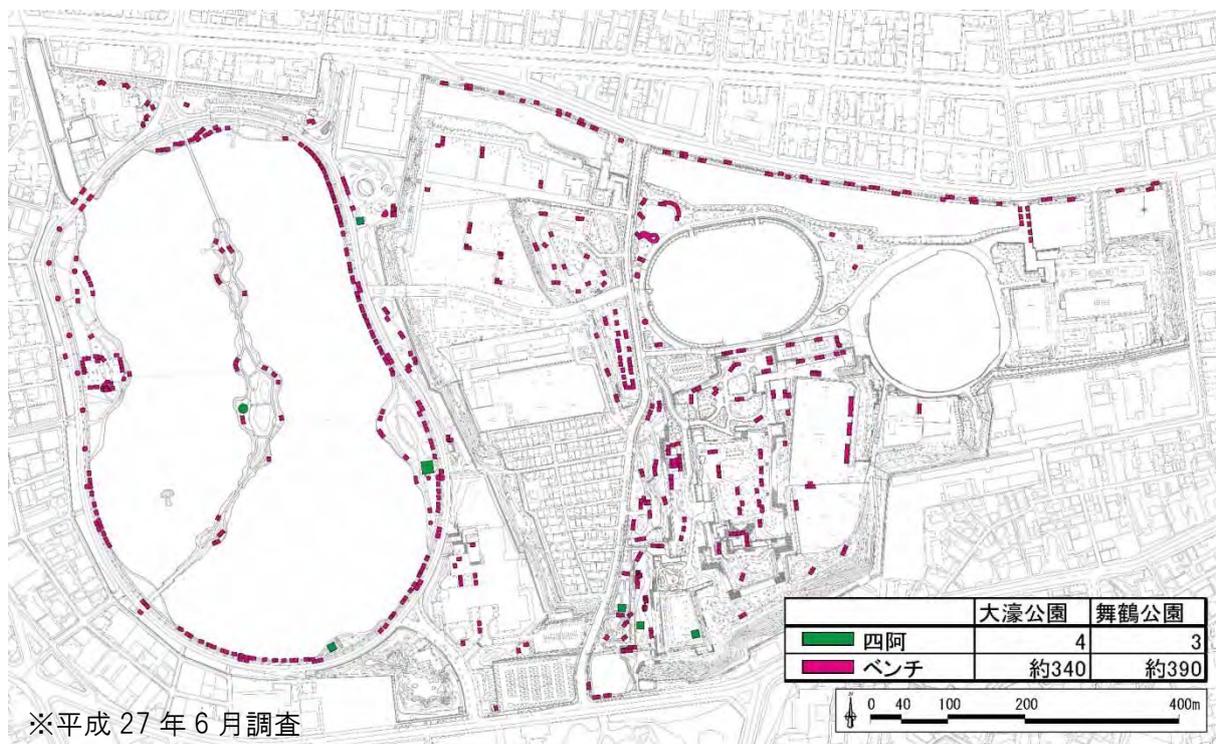


図：両公園の運動施設及び遊戯施設

## (6) 休養施設（四阿、ベンチ）

両公園における四阿とベンチの設置状況は以下のとおりです。

大濠公園では、池の周辺に集中しており、周回園路を散策する途中で水面を見ながら休憩できるような配置されています。一方で、舞鶴公園では、本丸・二ノ丸に集中しており、城郭を散策しながら休憩できるような配置されています。



図：休養施設の設置状況

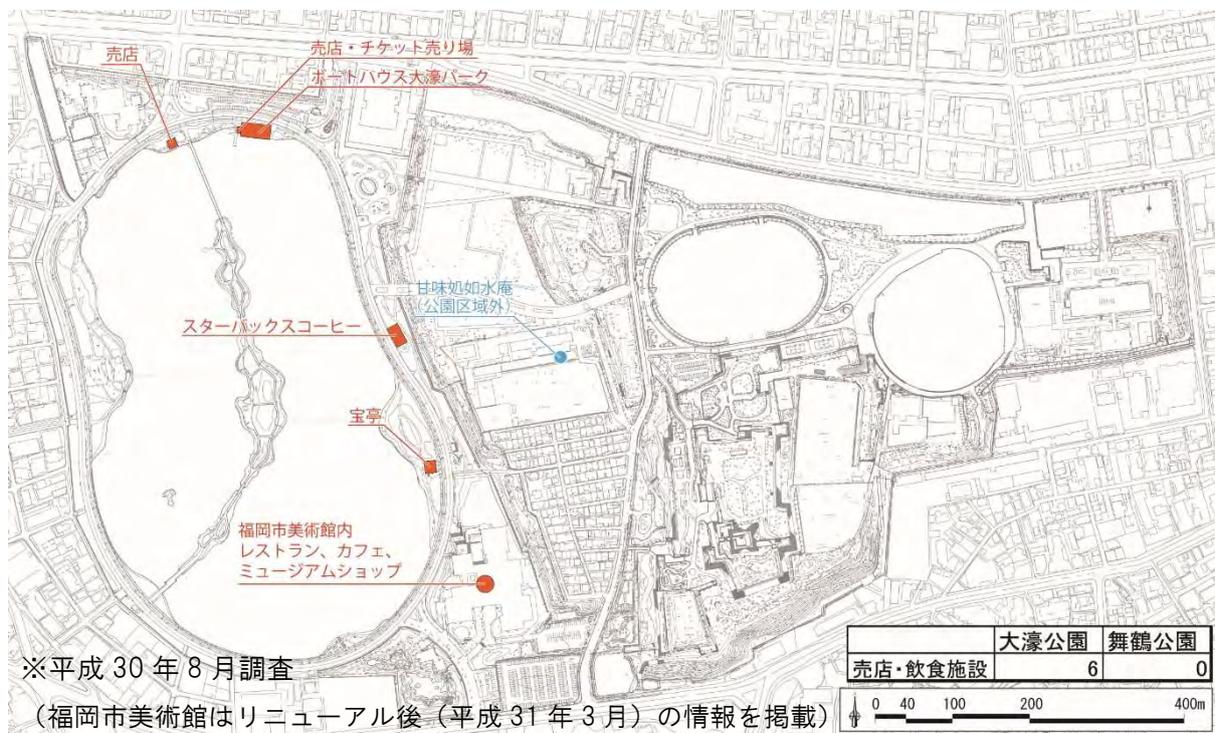


写真：両公園の休養施設

## (7) 便益施設

### ① 売店・飲食施設

両公園における売店、飲食施設の設置状況は以下のとおりです。舞鶴公園内には売店・飲食施設は現在なく、大濠公園に集中しています。なお、現在は旧舞鶴中学校舎内にある三の丸スクエアの館内では、甘味処如水庵が営業しています。



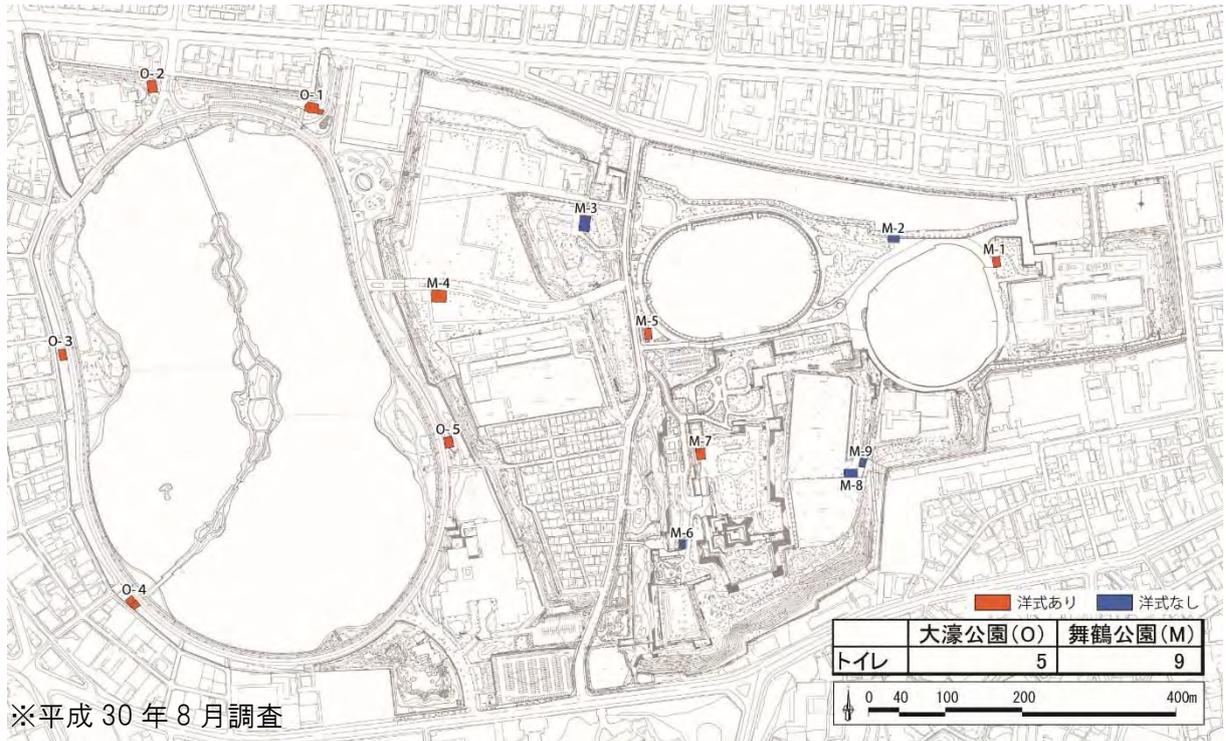
図：売店・飲食施設の設置状況



写真：両公園の売店、飲食施設

## ②トイレ

両公園におけるトイレの設置状況は以下のとおりです。現在 14 箇所（箇所）のトイレが設置されていますが、このうち 5 箇所は和式のみとなっています。また、舞鶴公園には、大濠公園の倍の数のトイレがありますが多目的トイレは限られています。トイレの外観はなまこ壁のデザインのものが多くみられますが、福岡城跡の歴史的建造物の中で、なまこ壁が用いられたものは現在見つかりません。



※平成 30 年 8 月調査

図：トイレの設置状況（施設内トイレ除く）

表：両公園のトイレの穴数（平成 30 年 12 月時点）

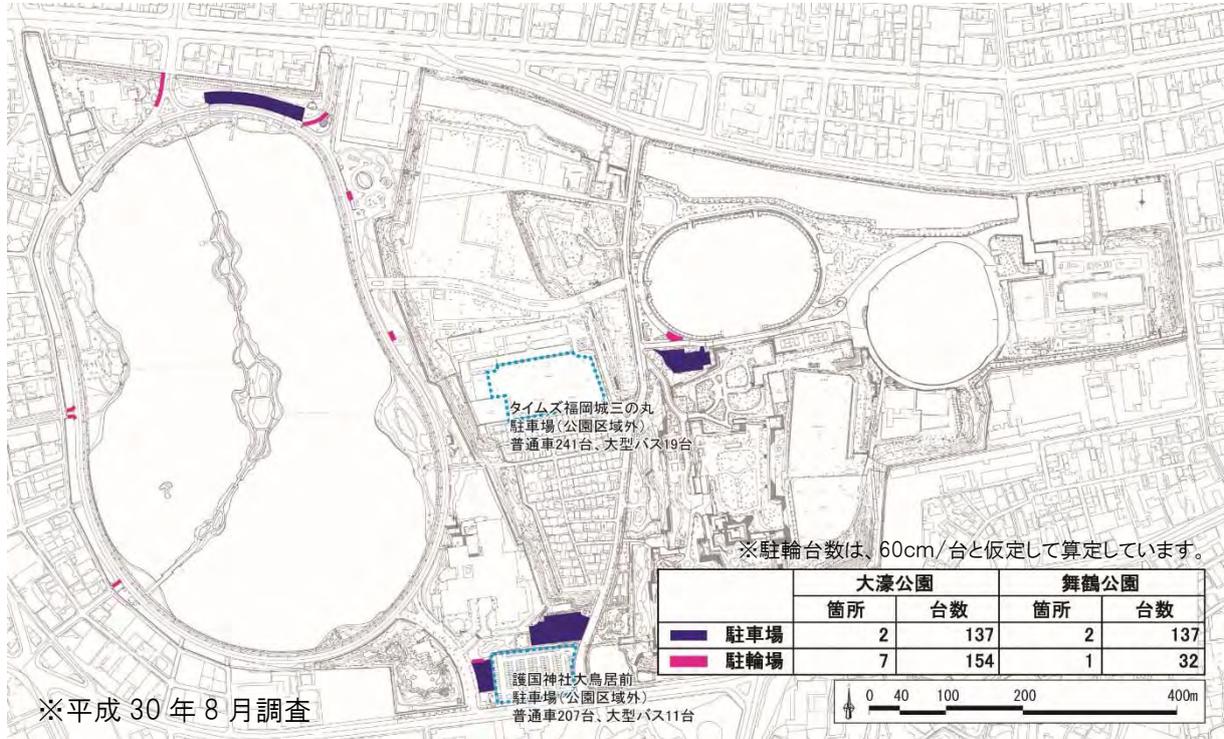
	プロット番号	穴数						多目的	計
		男子			女子				
		小	和式	洋式	和式	洋式			
大濠公園	O-1	3		1		2	1	7	
	O-2	3		2	1	5	1	12	
	O-3	2		1	1	1	1	6	
	O-4	2		1		2	1	6	
	O-5	3		2		3	1	9	
計(大濠公園)	13	0	7	2	13	5	40		
舞鶴公園	M-1	6	2		4		1	13	
	M-2	3	1		2		—	6	
	M-3	3	1		2		—	6	
	M-4	3		2		3	1	9	
	M-5	6	1	1	2	2	1	13	
	M-6	3	1		2		—	6	
	M-7	6	2		4		1	13	
	M-8	4	1		3		—	8	
	M-9	3	1		2		—	6	
計(舞鶴公園)	37	10	3	21	5	4	80		
合計		50	10	10	23	18	9	120	



写真：両公園のトイレ

### ③ 駐車場・駐輪場

両公園における駐車場、駐輪場の設置状況は以下のとおりです。大濠公園は、舞鶴公園に比べ多くの駐輪場が設置されていますが、通勤・通学者の利用が目立ちます。また、舞鶴公園の駐輪場は、平和台陸上競技場の利用者が主に利用しています。



図：駐車場・駐輪場の設置状況

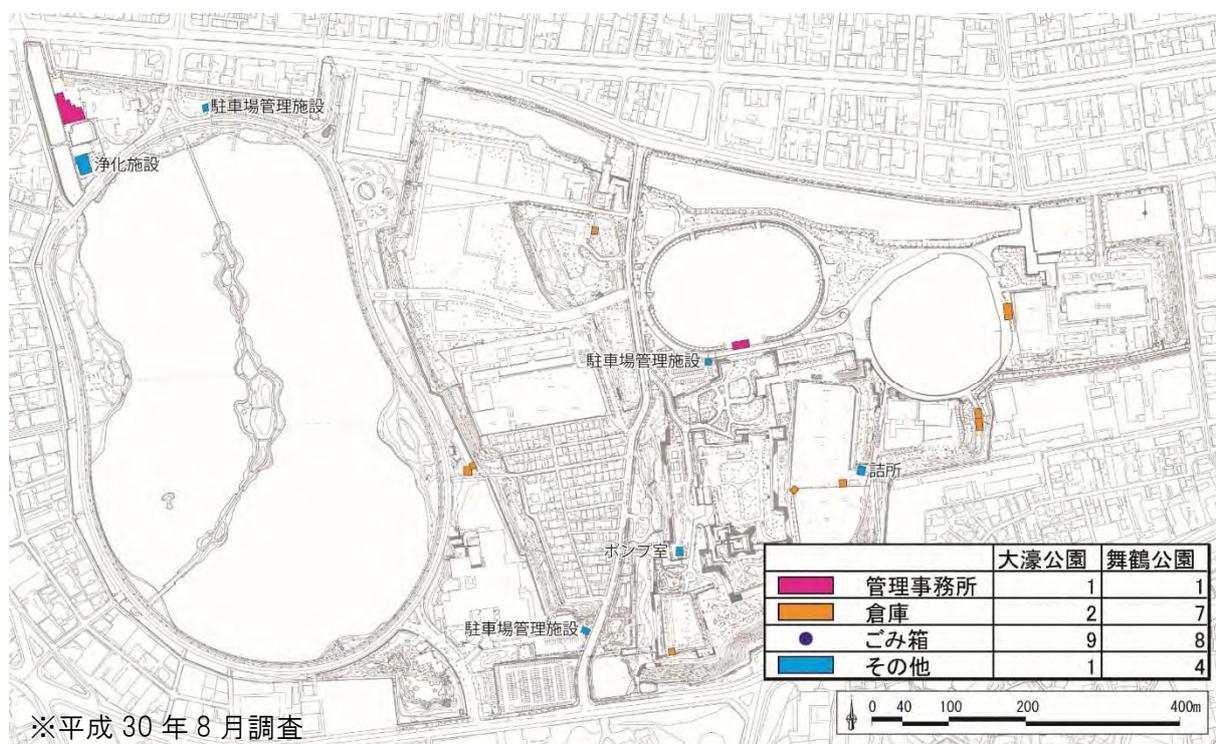


写真：両公園の駐車場・駐輪場

## (8) 管理施設

### ① 管理事務所・倉庫・ごみ箱等

両公園における管理事務所、倉庫、ごみ箱等の管理施設の設置状況は以下のとおりです。



図：管理事務所・倉庫・ごみ箱・その他の設置状況



写真：両公園の管理事務所・倉庫

## ②照明施設

両公園における照明施設の設置状況は以下のとおりです。全体の傾向として、様々なデザインの照明が設置されています。特徴としては、夜間も公園利用者が多い大濠公園では、庭園灯が多く設置されており、福岡城跡の史跡が残る舞鶴公園では、夜間照明が点在しており、暗いですが、史跡を照らす演出照明も設置されています。



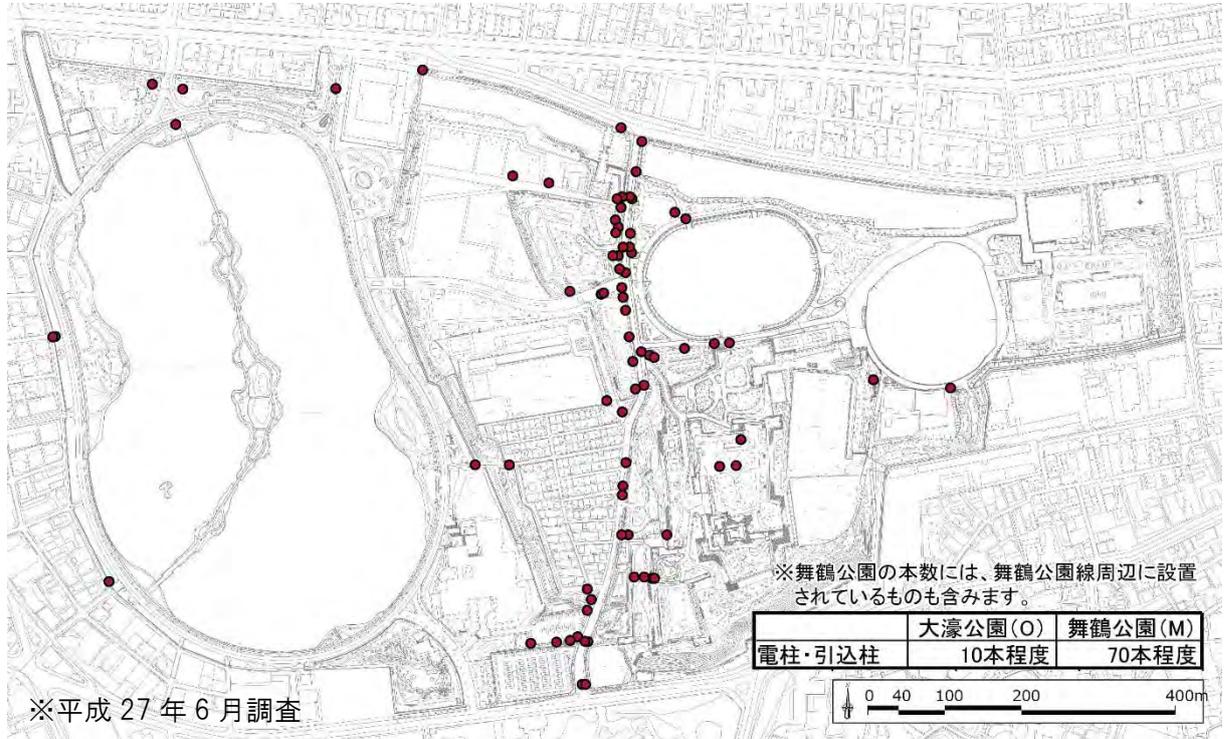
図：照明施設の設置状況



写真：両公園の照明施設

### ③電柱・引込柱

両公園における電柱・引込柱の設置状況は以下のとおりです。大濠公園と比較して舞鶴公園は電柱が多く設置されています。



図：電柱の設置状況



写真：両公園の電柱・引込柱

## (9) サイン

大濠公園に設置されているサインの総数が 251 基、舞鶴公園に設置されているサインの総数が 294 基ですが、サインの設置数を、水面を除いた公園面積(大濠公園約 17ha、舞鶴公園約 35ha)で割ると、1 ha あたりの設置数は、大濠公園が 15 基、舞鶴公園が 8 基となります。

サインの種類毎に設置数の差を見てみると、解説サインと名称サイン、注意サインに大きな差が見られます。舞鶴公園に解説サインと名称サインが多いのは、鴻臚館跡・福岡城跡をはじめとする豊富な歴史資源があるためです。一方で、大濠公園に注意サインが多いのは、利用者の総数が多いためであり、ペット連れの利用者に向けたものや、水辺の使い方に関する注意サインの割合が多くを占めています。

また、多言語表記の割合で見ると、注意サインは設置数が多いものの、少ない割合となっています。舞鶴公園では、案内サイン、誘導サイン、解説サインで多言語表記の割合が約半分を占めています。一方で、大濠公園では、誘導サインの多言語化は進んでいるものの、解説サインの多言語表記は見られません。

これらのサインは、設置目的や時期によりデザインが異なっており、全体的にまとまりのない印象を受けます。さらに、設置された時期が古いものは、掲載情報が現状と即していないものもあります。

### <サインの種類と定義>

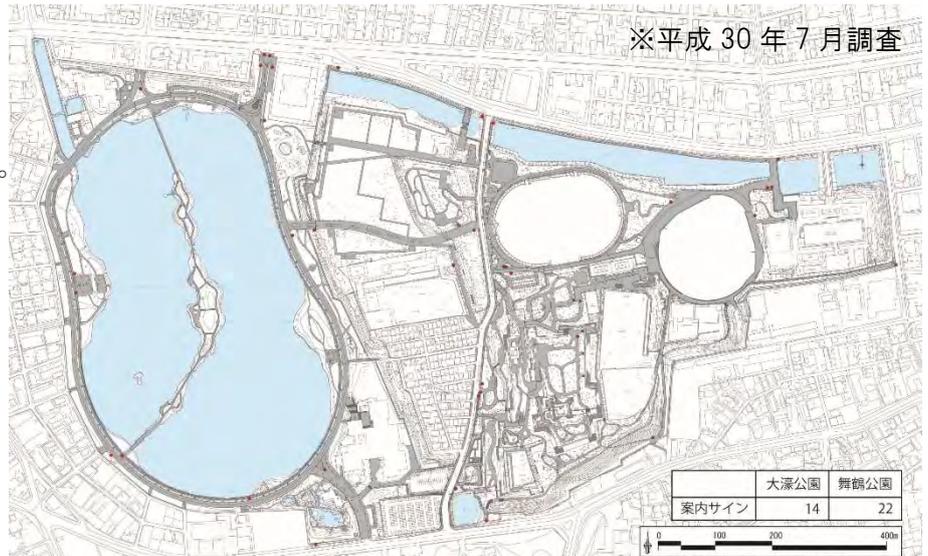
- ①案内サイン：公園内の施設や名勝などの所在や位置関係などを確認するためのもの。
- ②誘導サイン：公園利用者を目的の事物まで導くもの。
- ③名称サイン：対象物の所在地において名称や用途を示し、歩行者に目的地に着いたことを示すもの。
- ④解説サイン：名勝や施設等をはじめとした公園内の事物の内容・歴史等を解説するもの。
- ⑤注意サイン：安全やルールを保つための行動を促すもの。

	大濠公園	舞鶴公園	計
<b>案内サイン</b>	<b>14</b>	<b>22</b>	<b>36</b>
日本語表記	9 (64%)	10 (45%)	
2ヶ国語表記 (日、英)	4 (29%)	1 ( 5%)	
4ヶ国語表記 (日、英、中、韓)	1 ( 7%)	11 (50%)	
<b>誘導サイン</b>	<b>19</b>	<b>69</b>	<b>88</b>
日本語表記	10 (52%)	14 (20%)	
2ヶ国語表記 (日、英)	6 (32%)	25 (36%)	
4ヶ国語表記 (日、英、中、韓)	3 (16%)	30 (44%)	
<b>名称サイン</b>	<b>17</b>	<b>48</b>	<b>65</b>
日本語表記	15 (88%)	45 (94%)	
2ヶ国語表記 (日、英)	2 (12%)	2 ( 4%)	
4ヶ国語表記 (日、英、中、韓)	0 ( 0%)	1 ( 2%)	
<b>解説サイン</b>	<b>32</b>	<b>61</b>	<b>93</b>
日本語表記	32 (100%)	25 (41%)	
2ヶ国語表記 (日、英)	0 ( 0%)	6 (10%)	
4ヶ国語表記 (日、英、中、韓)	0 ( 0%)	30 (49%)	
<b>注意サイン</b>	<b>169</b>	<b>94</b>	<b>263</b>
日本語表記	151 (89%)	80 (85%)	
2ヶ国語表記 (日、英)	16 (9%)	4 ( 4%)	
4ヶ国語表記 (日、英、中、韓)	0 ( 0%)	8 ( 9%)	
無 (ピクトグラムのみ表示等)	2 ( 2%)	2 ( 2%)	
<b>合計</b>	<b>251</b>	<b>294</b>	<b>545</b>

## ①サインの配置状況

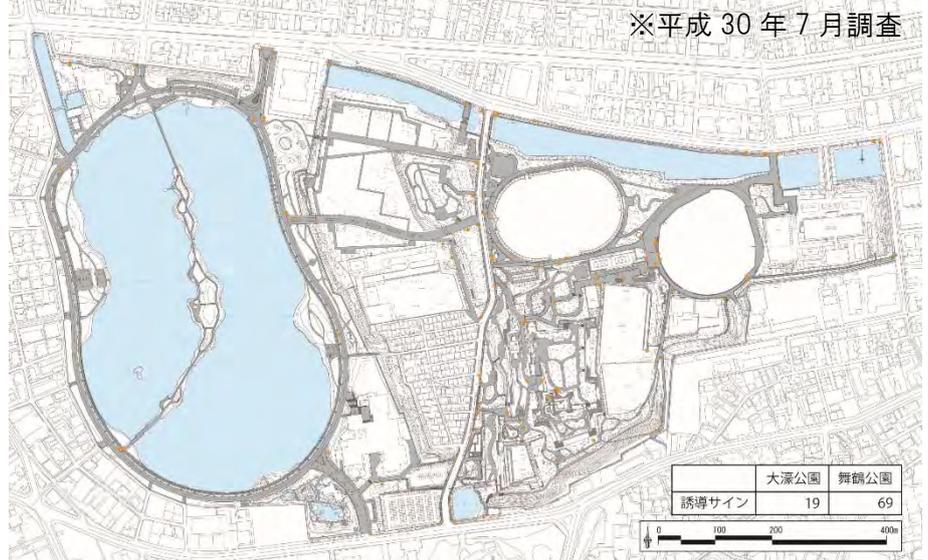
### ア) 案内サイン

道路からの入口や  
主要な園路などに主  
に設置されています。



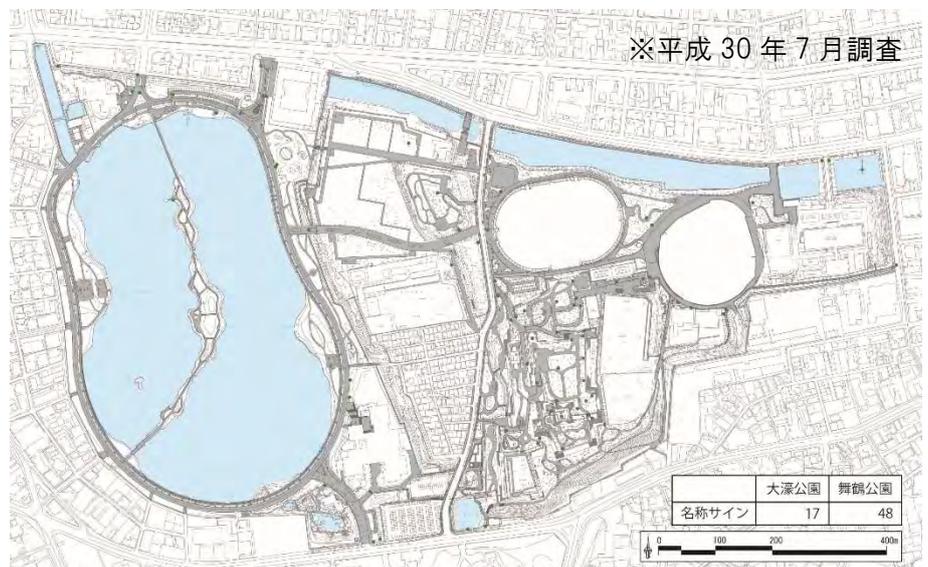
### イ) 誘導サイン

道路からの入口や  
主要な園路に設置さ  
れています。



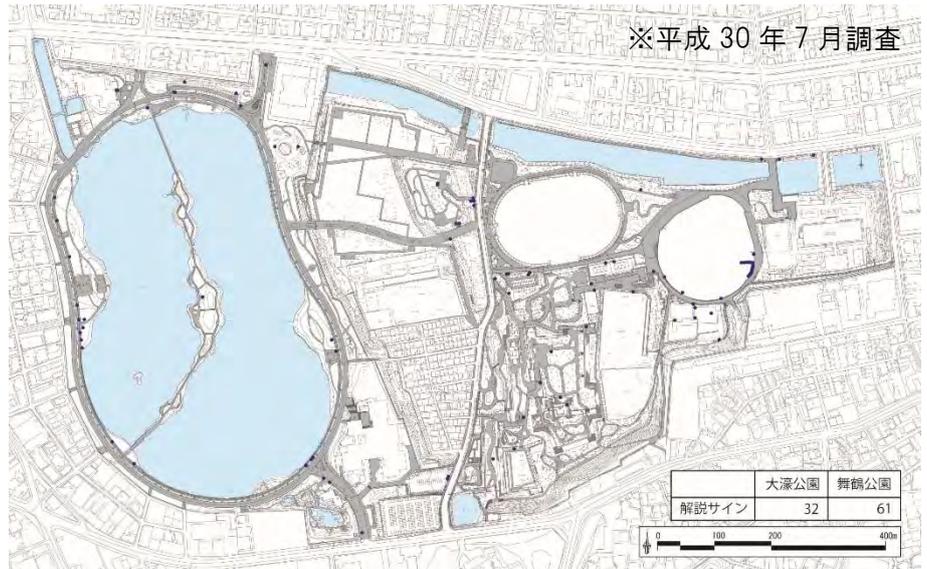
### ウ) 名称サイン

舞鶴公園の本丸・二  
ノ丸や御高屋敷に多  
く設置されています。



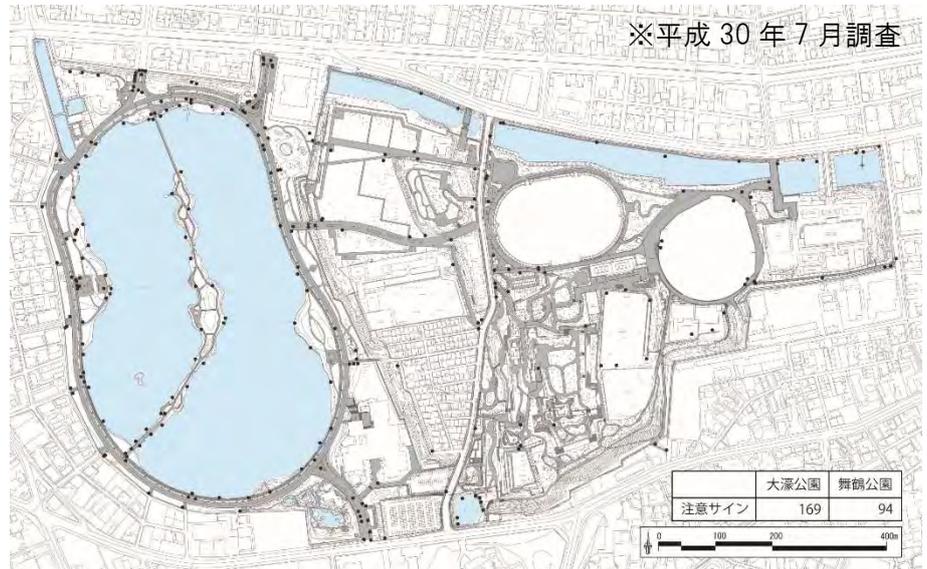
### エ) 解説サイン

歴史資源の多い舞鶴公園に多く設置されています。



### オ) 注意サイン

利用者の多い大濠公園に多く設置されています。



②サインの現況写真

ア) 案内サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

イ) 誘導サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

ウ) 名称サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

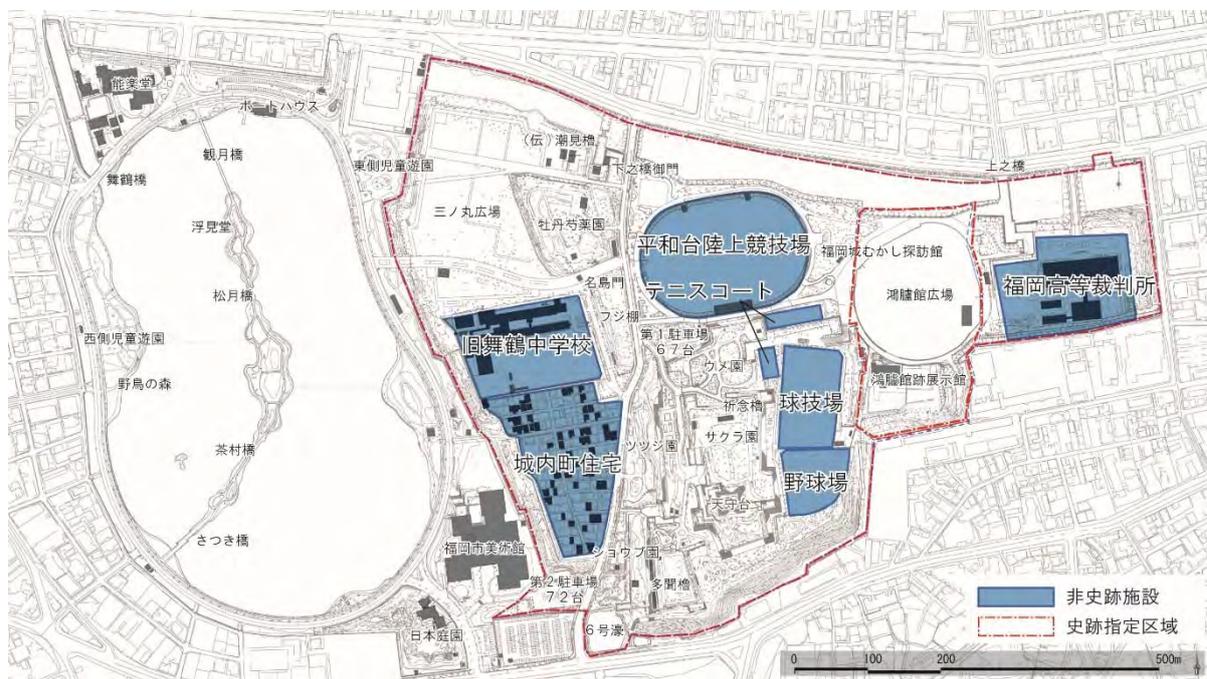
エ) 解説サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

オ) 注意サイン

大濠公園		舞鶴公園	
			
			

(10) 史跡区域内の非史跡施設



図：非史跡施設の位置図



写真：平和台陸上競技場



写真：テニスコート



写真：舞鶴中学校跡



写真：野球場



写真：球技場



写真：城内住宅



写真：福岡高等裁判所

表：非史跡施設の移転状況（舞鶴城址将来構想策定時からの進捗状況）

施設名	施設概要（H3 時点）				都市計画公園区域		移転等の状況	
	設置時期	敷地面積	建築面積	設置主体	当時（H3）	現在（H30）		
平和台野球場	昭和 25 年 (昭和 33 年改修)	2.55ha	2,693 m <sup>2</sup> (延 5,269 m <sup>2</sup> )	市	●	●	済	平成 10 年に撤去済
平和台陸上競技場	昭和 23 年	2.12ha	918 m <sup>2</sup>	市	●	●	未	継続して使用中
テニス・バレーコート	昭和 23 年	0.52ha	—	市	●	●		
球技場 (サッカー・ラグビー場)	昭和 23 年	1.49ha	—	市	●	●		
野球場	昭和 25 年	0.67ha	—	市	●	●		
城内住宅	昭和 21 年	2.64ha	(196 区画)	個人	●	●	途中	平成 6 年より移転事業開始（約 7 割が移転済）
舞鶴中学校	昭和 35 年	2.14ha	3,739 m <sup>2</sup>	市	—	●	済	平成 26 年城外移転済 (現在、ガイダンス及び駐車場として暫定活用中) 平成 26 年都市計画変更済
国立福岡中央病院	昭和 38 年	1.83ha	6,196 m <sup>2</sup>	厚生省	—	●	済	平成 6 年城外移転済 平成 7 年都市計画変更済
自衛隊福岡地方連絡部	昭和 32 年	0.26ha	3,705 m <sup>2</sup>	防衛庁	●	●	済	平成 14 年城外移転済
福岡高等裁判所	昭和 43 年	3.09ha	3,898 m <sup>2</sup>	裁判所	—	●	済	平成 30 年城外移転済
都市計画道路 舞鶴公園線	昭和 30 年 供用	昭和 24 年 3 月 31 日都市計画決定 (w=15m, L=750m)			—	—	未	継続して概成使用中 (六本松荒津線を統合し、 W=21m へ拡幅する都市計画 変更済)
都市計画道路 六本松荒津線	未整備	昭和 21 年 4 月 20 日都市計画決定 (w=15m, L=800m)			—	●	済	平成 7 年に廃止済 (舞鶴公園線へ統合)